

未来を拓く二刀流(両利き)経営

～オープンイノベーションで挑む新規事業と地域共創～

変化の激しい時代において、企業が持続的に成長するためには、既存事業を磨き続けるだけでなく、新たな事業や価値の創出にも挑戦することが求められています。この「既存事業の深化」と「新規事業の探索」を両立する「両利き経営」は、これからの地域製造業に欠かせない経営の考え方です。

本フォーラムでは、関西学院大学玉田俊平太教授による基調講演を通じて、オープンイノベーションを活用した二刀流（両利き）経営の実践方法を学ぶとともに、Garage Taisho、Garage Minatoが取り組む先進事例の紹介を通じて、尼崎・阪神地域で実現できる新たな企業連携や共創の可能性について考えます。

9月4日 金

14:00 - 17:30

定員100名・参加費無料

主 催オープンイノベーションコア尼崎
運営協議会（O I C）**共 催**

Garage Taisho、Garage Minato

会 場尼崎オープンイノベーション拠点
ARKade 2 F イベントスペース
尼崎市神田中通2丁目27番地**お申し込み**ご参加いただくには事前
にお申し込みが必要です。

下記申込フォームからお申込み下さい。
<https://forms.gle/Rcb32f5u5JRqMdqU6>

※ご記入いただいた内容は、当該業務
以外の目的には使用いたしません。



プログラム

第1部 講演

基調講演 関西学院大学 経営戦略研究科
経営戦略専攻 教授 玉田俊平太 氏
「二刀流経営（両利きの経営）のすすめ～破壊
的新規事業のためのオープンイノベーション～」

事例紹介① Garage Minato

成光精密株式会社 代表取締役 高満洋徳 氏
「地域企業におけるオープンイノベーション～
サクゴエ開発秘話～」

事例紹介② Garage Taisho

株式会社木幡計器製作所 代表取締役 木幡巖 氏
「中小企業の産学連携～医療機器開発秘話～」

第2部 トークセッション

モデレータ：玉田俊平太 氏
パネリスト：木幡巖 氏、高満洋徳 氏、尼崎市
イノベーション担当課長 杉下哲大
「尼崎・阪神地域から新たな挑戦と共創を」

第3部 ネットワーキング



オープンイノベーションコア尼崎運営協議会（OIC）は、尼崎市、尼崎商工会議所、尼崎信用金庫、（公財）尼崎地域産業活性化機構、（一財）近畿高エネルギー加工技術研究所で構成・運営しています。

玉田 俊平太（たまだ しゅんぺいた）氏

東京大学卒業後、通商産業省（当時）にてイノベーション政策の立案に従事。ハーバード大学大学院修士課程にてマイケル・ポーター教授のゼミに所属、競争力と戦略との関係について研究するとともに、クレイトン・クリステンセン教授から破壊的イノベーションのマネジメントについて指導を受ける。博士（学術）（東京大学）。

イノベーション経営研究の第一線で活躍し、企業が既存事業を強化しながら新たな価値を創出するための経営手法について、理論と実践の両面から研究・提言を続けている。

筑波大学専任講師、経済産業研究所フェローを経て現職。その間、東京大学先端科学技術研究センター客員研究員、東京大学先端経済工学研究センター客員研究員、文部科学省科学技術政策研究所客員研究官、一橋大学客員研究員を兼ねる。

研究・イノベーション学会審議員。日本知財学会会員。Japan Innovation Network「システマティック・イノベーション経営賞」審査員。日経ITイノベーターズ会議アドバイザリーボードメンバー。Re: Innovate Japanアドバイザリーボードメンバー。

平成23年度TEPIA知的財産学術奨励賞「TEPIA会長大賞」受賞。

著書に『日本のイノベーションのジレンマ第2版 破壊的イノベーターになるための7つのステップ』（翔泳社、2020年）、『イノベーション論入門』（中央経済社、2015年）、『イノベーション政策の科学：SBIR政策の評価と未来産業の創造』（東京大学出版会、2015年）、『産学連携イノベーションー日本特許データによる実証分析』（関西学院大学出版会、2010年）、『巨大企業に勝つ5つの法則』（日本経済新聞出版社、2010年）、『ビジネス・イノベーション・システムー能力・組織・競争（日本評論社、2009年）』、『日本のイノベーション・システムー日本経済復活の基盤構築にむけてー』（東京大学出版会、2006年）などがある。

講演では、「既存事業を深化させる力」と「新たな事業・価値を創造する力」を両立させる「両利き（二刀流）経営」の考え方を軸に、地域中堅・中小企業の持続的な成長実現のための、オープンイノベーションを活用した実践的なヒントについてご講演いただきます。



木幡 巖（こばた いわお）氏

大学卒業後、空気圧機器メーカーに就職。2年間営業職に就く。

その後、家業である株式会社木幡計器製作所に入社。2013年に母である6代目社長より事業承継、7代目の代表取締役となる。

呼吸筋力測定器「IOP-01」の医療機器開発を始め2018年に製品化。

同社のIoT製品「Salta®」の開発を主導し、2021年販売スタート。2024年防爆エリア対応の「Salta®-Ex」を販売。

講演では、産学連携による呼吸筋力測定器「IOP-01」の開発や、自治体を巻き込んだ地域活動のあり方などについてご講演いただきます。



高満 洋徳（たかみつ ひろのり）氏

1976年生まれ。岡山県出身。2001年に大阪市港区で産業用工作機械の部品加工業を始める。2007年に法人化（社名:成光精密株式会社）。現在、プロトタイプ品を主に製作。

オープンイノベーションによる新しい製品の企画・開発に向けて、多様な企業、大学・研究機関等と交流を行う拠点としてGarage Minato（ガレージミナト）を立上げ、DeSETプロジェクトへ参画し、世界のものづくりの課題を解決すべく取り組む。

所属団体：Garage Minato運営責任者、一般社団法人港産業会イノベーションポート

200副会長、一般社団法人港産業会副会長、大阪ものづくり企業認定訓練協会代表

講演では、町工場が加工技術を結集し、製品化・収益化を実現した「サクゴエ」の事例を通じて、民間企業および町工場同士の連携の重要性についてご講演いただきます。

